

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 7 月 20 日(水曜日) ~ 平成 23 年 7 月 26 日(火曜日))

平成 23 年 7 月 27 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 国際宇宙ステーション搭乗宇宙飛行士の認定について

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、平成 21 年 4 月より油井亀美也宇宙飛行士候補者と大西卓哉宇宙飛行士候補者に、平成 21 年 9 月より金井宣茂宇宙飛行士候補者に対し、国際宇宙ステーション(ISS)搭乗宇宙飛行士候補者基礎訓練を実施してきた。今般、3 名の宇宙飛行士候補者が、全ての基礎訓練項目を修了したことから、平成 23 年 7 月 25 日付けで ISS 搭乗宇宙飛行士として認定した。

今回認定された ISS 搭乗宇宙飛行士は、今後、NASA ジョンソン宇宙センターを拠点とし、日本を含む各国で行われる宇宙飛行士としての知識・技能を向上させる訓練に参加する。

宇宙開発に関する海外の動向

- スペースシャトル「アトランティス号」の帰還 【米】
7 月 8 日(金曜日)15 時 29 分(世界標準時、以下同じ)に米国航空宇宙局(NASA)により打ち上げられたスペースシャトル「アトランティス号」(STS-135 ミッション)は、約 13 日間にわたるミッションを終えて 7 月 21 日(木曜日)9 時 57 分にケネディ宇宙センターへ帰還した。今回のミッションでは、「ラファエロ」(多目的補給モジュール 2)、ロボットによる燃料補給ミッション(RRM)実験装置、補給物資等の国際宇宙ステーションへの輸送と設置等が行われた。同機の帰還により、1981 年 4 月 12 日に打ち上げられた STS-1 ミッションのスペースシャトル「コロンビア号」以降 30 年間続いたスペースシャトルプログラムが終了した。